



### TACSしべちゃの概要

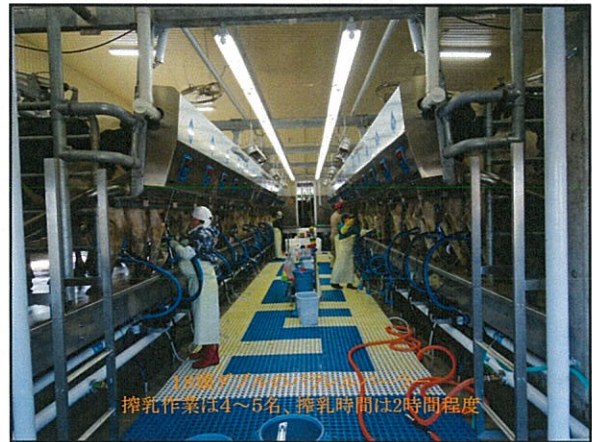
- ① 事業形態 農業生産法人 株式会社 TACSしべちゃ（農業生産法人）
- ② 事業所 川上郡標茶町字中オソツバツ（設立当初JA本所）
- ③ 資本金95,000千円（1株50千円）
- ④ 出資割合（11/22出資済）
  1. 標茶町農業協同組合： 約 51.0%
  2. 雪印種苗株式会社： 約 39.0%
  3. 標茶町役場 約 9.9%
  4. 取締役（常勤）2名 約 0.1%
- ⑤ 役員員 取締役3名（常時農業従事者2名）  
 従業員（トレーナー）2名、パート3名  
 長期研修生 家族2組4名、単身者2名 合計6名  
 短期研修生および体験希望者 9名

※ 運営に関する助言や指導を行う機関として運営委員会、また技術向上のために運営委員会の下部組織として技術部会を設ける。

### TACSしべちゃの概要

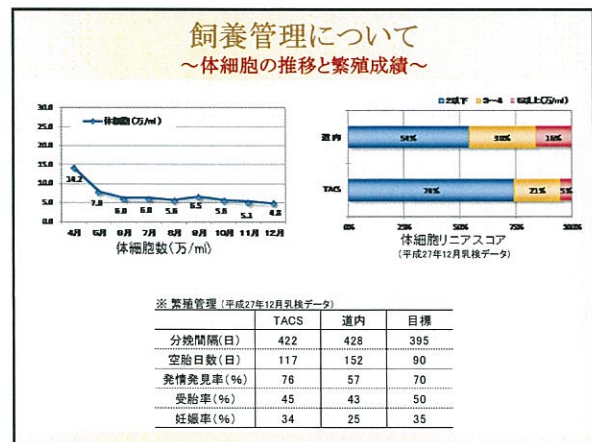
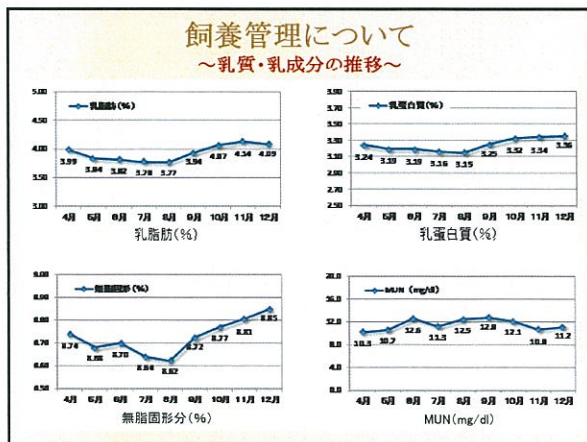
- ⑥ 事業コンセプト  
 『草地型酪農の模範となる農業生産法人の運営と農業生産高の維持向上』
- ⑦ 草地面積 約250ha → うちデントコーン作付面積約38ha
- ⑧ 目標年間出荷量 約2,400トン～
- ⑨ 目標飼養頭数 成牛～300頭、育成牛200頭～
- ⑩ 飼養スタイル フリーストール、18頭Wバラレルバーラー
- ⑪ 総事業費 約6億8,000万円  
 （強い農業づくり交付金など約2億6,000万円を除く）
- ⑫ 事業開始 平成25年11月25日会社登記  
 → 搾乳開始：平成27年4月3日より





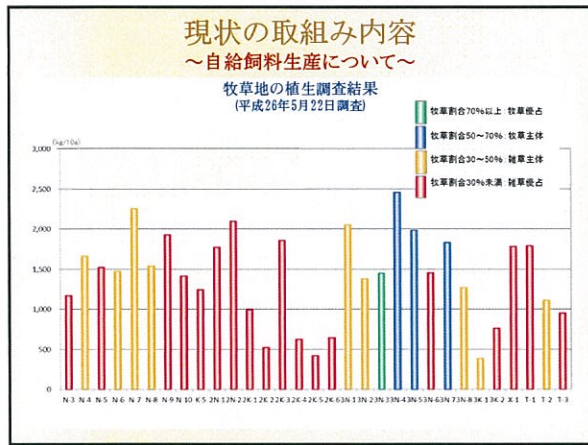
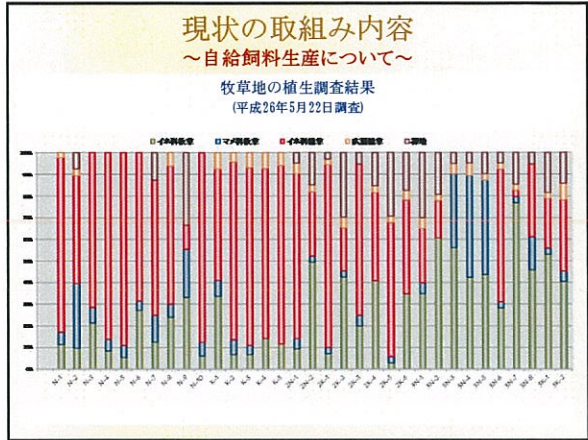
### 飼養管理について ～飼養頭数の推移～

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
搾乳牛	7	117	137	149	167	182	186	205	222	221	-
乾乳牛	1	22	23	17	16	12	20	19	13	25	-
経産牛	7	139	160	166	183	194	206	224	235	246	-
育成牛12~	116	93	85	86	74	64	59	46	36	23	-
育成牛~12	0	7	16	21	25	34	49	61	68	75	-
総頭数	123	239	261	275	282	292	314	333	341	354	-
分娩頭数	7	25	23	22	22	25	21	24	21	17	207
初産牛	7	22	15	9	16	17	14	19	13	14	150
経産牛	0	3	4	13	6	8	7	5	8	3	57
ホル牛	7	10	5	4	9	15	12	7	7	7	76
ホル♀	1	4	2	14	6	4	6	3	11	4	55
F1	5	15	9	3	9	14	1	8	2	6	72
死産	1	0	2	1	7	1	1	1	1	0	15
廃用牛	1	1	3	1	1	4	4	1	2	3	21



### 自給飼料生産について ～取組み経過～

- ・平成25年: 植生および収量調査を主に実施
  - 植生調査(5/14)
  - 1番草収量調査と土壌サンプリング(6/21)
  - 2番草収量調査(8/12)
- ・平成26年: 牧草地への追播およびデントコーンの試作を実施
  - 植生調査(5/22)
  - 1番草収量調査(6/21)
  - 2番草収量調査(8/5)
  - 牧草地への追播を30ha実施(9/1～3)
  - デントコーン10ha試作播種(5/30)
  - デントコーンの収量調査(9/19)
  - デントコーン収穫(10/5～6)
  - 翌年デントコーン作付予定の40haを秋耕起(11/4～8)
- ・平成27年: デントコーン栽培および牧草地の植生改善へ向けた取組みを実施
  - 植生調査(5/18)
  - 1番草収量調査(6/11)
  - 2番草収量調査(7/30)
  - 牧草地への30ha追播(8/12～14)
  - 植生改善更新デモ(8/24～28)
  - 更新圃場へ雪腐防止殺菌剤散布(11/19)
  - フルストシーディング3.5ha(11/23)
  - デントコーン38ha播種(5/25～27)
  - 土壌処理(6/11～12)
  - 生育処理(7/7)
  - デントコーンの収量調査(9/19)
  - デントコーン収穫(10/5～7)



### 現状の取組み内容 ～自給飼料生産について～

自給飼料生産の現状!

	1番草	2番草	小計	トウモロコシ	合計
生収量(t/10a)	1.45	1.12	2.57	4.70	
貯蔵量(t)	1,380	816	2,196	1,086	3,282
必要量(t)	3,800	1,800	5,600	1,600	7,200
粗飼料自給率	36%	45%	40%	68%	45%

※牧草生収量は、3年間の平均収量、トウモロコシは、2年間の平均収量  
※貯蔵量は、平成27年度のTACSの自給飼料圃場分

**必要量の根拠と目標**

1番草:2番草:トウモロコシ=2:1:1  
年間出荷乳量=2,400t  
乾物粗飼料比率=5割  
目標は6割

100%にするには...

- 1番草で2.7 t/10a以上
- 2番草で1.3 t/10a以上
- トウモロコシで5.3 t/10a以上

### 現状の取組み内容 ～自給飼料生産について～

トウモロコシの自給生産取組み経過

- ①整地開始: 5月19日～
- ②播種日: 5月25～27日実施  
施肥量: BBS305 (13-20-5-4) 80kg/10a。内40kgを全層処理し、40kgを作業施肥とした。
- ③播種品種: ソリード78日、ビビット80日、エリオット85日
- ④土壌処理: 6月11～12日
- ⑤追肥: 6月29日 尿素 10kg/10a
- ⑥生育処理: 7月7日
- ⑦収量調査: 9月19日
- ⑧収穫: 10月6～7日

収量調査結果 (平成27年9月15日調査)

取種時熟度	生収量 (kg/10a)	乾物収量(kg/10a)			乾物離穂割合 (%)	乾物TDN収量 (kg/10a)
		茎葉	離穂	総量		
TACS 乳熟中期	5,161	900	263	1,496	17.6	941
標準平均	4,515	1,111	274	1,385	19.8	879





### 自給飼料生産について

～草地更新の取組み: 作溝型播種機による追播～



2番草の刈取り



シードマチックによる追播



① 2番草刈取り  
平成27年8月12日刈取り  
刈取直後10日以内に追播実施

② 播種  
平成27年8月12日播種  
追播機 シードマチック  
播種量: オートチモシー(アラスカ)10kg/ha  
          ヒメアザミ(アラスカ)10kg/ha

平成27年8月12日現在

### TACSLべちやから地域への技術発信

～草地更新デモ 平成27年8月20日～



### 自給飼料生産について

～表層攪拌と完全更新の生育比較～

播種後1ヵ月目(平成27年9月25日現在)



完全更新

表層攪拌による更新

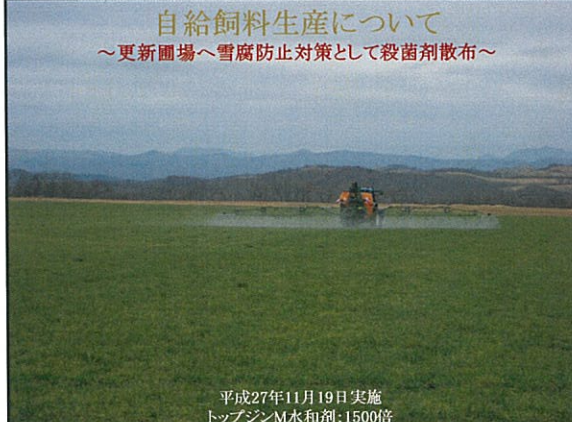
### TACSLべちやから地域への技術発信

～フィールド研修会 平成27年10月20日～



### 自給飼料生産について

～更新圃場へ雪腐防止対策として殺菌剤散布～



平成27年11月19日実施  
トップジンM水和剤:1500倍

### 自給飼料生産について

～フロストシーディングの実施～

更新圃場の手直しを含めた播種時期の拡大  
平成27年11月23日実施

